

# 反映状況票

(単位:百万円)

省庁名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	元年度予算額	2年度予算案	増▲減額	反映額
国土交通省	(33) 下水道革新的技術実証事業	本省	—	3,897の内数	3,661の内数	▲236の内数	▲237
事業の概要	自治体における下水道分野での効率的かつ効果的な新技術の導入促進を目的として、国が主体となり、下水道における革新的な技術の検討・実証を行い、ガイドラインを作成して当該新技術について全国展開を図っていくための事業である。						

## 調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

### 1. テーマ選定

過去の実証事業については、テーマ選定に偏りがあり、自治体の要望や今後の下水道事業の重点課題が反映されたテーマ選定がされているとは言いがたい。

今後の実証事業のテーマ選定にあたっては、下水道事業における重点課題を反映し、また自治体の要望に適合したテーマ選定がなされるよう検討体制も含めたテーマ選定のあり方を見直すべき。

### 2. 事業効果の検証

実証事業の結果、目標値を達成できなかった場合、単純な要因分析をするのみでなく、十分な検証を行い、目標達成のための技術の改良や今後の実証事業への活用といった検討を行うことでPDCAサイクルを向上させ、実証事業が検証結果を踏まえたものとなるよう検討を行うべき。

### 3. 汎用性

過去の実証事業は、自治体の認知状況が十分でなく、検討もされていないケースが大半であり、自治体において技術の導入が進んでいない。

技術が認知すらされていない状況の改善や、自治体が導入する際に検討材料となるコストや効果の情報を充実させるなど普及啓発の方法を見直すほか、自治体の要望に適合したテーマを選定するとともに、交付金事業において、効果が認められた実証事業の導入が可能な場合の事業実施にあたっては、導入の検討を要件化し、技術の導入を促すべき。

## 反映の内容等

### 1. テーマ選定

実証事業のテーマ選定にあたっては、新下水道ビジョン加速戦略（平成29年8月）に示された重点項目を反映し、自治体からのニーズの高い分野を対象とするとともに、自治体職員をテーマ選定の委員会に含めることにより自治体のニーズを直接反映できる検討体制を導入することとした。

自治体のニーズを踏まえ、より効果的な方法を採用することにより、実証費用を削減した。（反映額:▲237百万円）

### 2. 事業効果の検証

ガイドラインを策定済みの下水道革新的技術実証事業（B-DASH）実証技術のうち、目標値を達成できなかった技術については、当該調査事業の事業実施主体の費用負担による自主研究により得られた追加のデータや知見を基に、当該技術を活用した下水道施設の機能向上やコスト縮減に関する内容を盛り込むなどガイドラインの見直しを実施することとした。

### 3. 汎用性

全国都道府県下水道主管課長会議等において各自治体に対しB-DASH技術の活用について周知徹底を行うとともに、B-DASH技術のコストや効果の情報を充実させた技術パンフレットを作成・公表することとした。

また、交付金事業において、効果が認められた実証事業の導入が可能な場合の事業実施にあたっては、導入の検討を要件化することとした。